



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 1月号
令和5年1月10日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

新年 おめでとうございます

校長 松永 淳子

冬晴れが続く穏やかな年末年始となりました。心新たに新しい年を迎え、今年の抱負を胸に登校した子どもたちも多くいることでしょう。静まり返っていた校舎が、今日一日で子どもたちの声で賑やかさを取り戻しました。

休みのうちに小寒となり、これから大寒となるととても寒い時期を迎える頃となりました。そのような中でも、環境委員会を中心に全校で取り組んでいる花いっぱい活動のプリムラの花が色とりどりに咲き続け、強くたくましい姿がこの寒空に凛と栄えています。子どもたちもプリムラの花同様、それぞれの個性を生かした色とりどりの学校生活が送れるよう、今年も教職員一同支援して参ります。

さて、今年はいしご年です。うさぎにまつわる諺などを紹介しながら、今年の子どもの学校生活が一層充実したものとなるよう努めて参りたいと思います。

○鳶目兔耳（えんもくとじ）

鳶の目と兔の耳ですので、よく見える目とよく聞こえる耳から、情報収集能力が高い人や、そのような事柄を意味する言葉です。

学校もコロナ禍三年の間に、情報教育が進み端末が子どもたちの学習用具の一つとして浸透してきました。どの教室を覗いても、端末を操作していない日はないほど、子どもたちの学習に欠かせないものとなっています。これからは、子どもたちが必要な場面で必要な活用方法を自ら選択し使用していく時代となることでしょう。まさに、「鳶目兔耳」を目指した教育活動が期待される年となりそうです。

○うさぎの登り坂（うさぎののぼりざか）

うさぎの後ろ足は長く坂を登るのが得意だそうです。逆に坂をくだることは苦手だそうです。そこからうさぎにとっての上り坂はまさに好条件で、物事が順調に進みやすいような環境であることを例えた諺です。

うさぎはふわりとした毛並みが印象的でぴょんぴょん跳ねる動物です。今年はそのうさぎにあやかり、「飛躍の年」にしたいものです。そのために子どもたち一人ひとりが逆境にも負けず、まさに「兔の登り坂」であり続けられるよう支援の輪を広げていきたいと考えております。

今年も瀬戸ヶ谷小学校の子どもたちが輝ける一年となりますよう昨年同様、お力添えをいただきますようよろしくお願い申し上げます。

また、保護者や地域の皆様にとって、健康で充実した年となりますよう祈念いたしております。

